

NEWS RELEASE

エフアンドエイノンウーズは 使用済衣類の資源循環に関して業務提携を締結しました

当社、株式会社エフアンドエイノンウーズ（以下、FANS）は、“地球にコミットする循環商社” 株式会社ECOMMIT（鹿児島県薩摩川内市、以下ECOMMIT）、“あらゆるものを循環させる” をミッションに掲げる株式会社JEPLAN（神奈川県川崎市、以下JEPLAN）と、使用済衣類の資源循環に関する業務提携をそれぞれ締結しました。



近年、繊維産業における環境負荷に注目が高まっており、国内の衣類の新規供給量の約6割に相当する48.5万トンが廃棄（*）されている現状を改善するため、繊維製品の資源循環システムの構築が重要な課題となっています。

（*）2022年度 環境省「循環型ファッションの推進方策に関する調査」

この社会的課題に対応するため、FANSは、資源循環システムのボトルネックの一つである「回収した衣類からボタンやファスナーなどの異物を除去する」工程を、手作業から自動化することで生産量を10倍とする設備投資を行い、2025年4月に稼働を予定しています。

（2023年10月23日付日本毛織株式会社リリース参照[PowerPoint プレゼンテーション \(nikke.co.jp\)](https://www.nikke.co.jp/powerpoint/)）

今回の業務提携により、安定的にリサイクル用の古着の供給を受けることで、導入設備の生産能力を最大限に発揮することが可能となります。

また、ECOMMIT、JEPLAN両社の優れたトレーサビリティによって、資源循環システム全体の透明性が高まるものと期待しております。

FANSは、引き続き、資源循環システムのバリューチェーンにおける様々なパートナーと協力して衣類の廃棄量の削減に取り組み、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

<ECOMMITについて>

<https://www.ecommit.jp/>

ECOMMITは「捨てない社会をかなえる」ために、ものが循環するインフラをビジネスで実現する循環商社です。全国7箇所に自社の循環センターを持ち、不要になったものを回収・選別・再流通しています。さらに、“ものの流れ”をデータ化する自社開発のトレーサビリティシステムにより、リユース・リサイクル率の算出や、CO2削減量のレポーティングまで行うことで、企業や自治体のサステナビリティ推進に向けたサービスを包括的に提供しています。

■ECOMMITの資源循環サービス
“PASSTO”は[こちら](#)

<JEPLANについて>

<https://www.jeplan.co.jp/>

JEPLAN グループは「あらゆるものを循環させる」をミッションに掲げ、サーキュラーエコノミーの実現を目指しています。日本国内の2拠点でPET ケミカルリサイクルプラントを運営し、国内外への技術ライセンス事業も推進しています。独自技術を用いて、「ボトル to ボトル（ペットボトル）」や「服から服をつくる（ポリエステル繊維）」などのリサイクルに取り組み、再び市場に循環しています。限りある資源の循環を実現し、CO₂の排出量削減にも寄与しています。

■JEPLANの「服から服をつくる®」
取組み“BRING™”は[こちら](#)

《本件に関する問い合わせ先》

FANS 営業本部東京営業部

RP（リサイクルプロジェクト）専任課長

高石 雄幸

TEL：（03）3862-7321